

## 市民意見の個別施設計画への反映事項集計表【共通項目】

検討課題	項目	市民意見(要約)	計画への反映事項(対応方針)
建物・設備の改修	老朽化	・施設が老朽化している。	本市が保有している公共建築物のうち、建築後35年以上経過している施設は全体の51.5% (令和元年現在)を占めており、全体的に老朽化が進んでいます。鉄筋コンクリート造の建築物については、築80年で建替え、築40年で大規模な改修の実施を計画しています。 すでに築40年以上経過している建物も多数ありますが、劣化状況や対策内容(現状維持か、廃止か)等により優先順位を決めて、順番に大規模な改修を実施していきます。
	耐震性	・施設の耐震性がよくない。耐震化を確実にしてほしい。 ・地元の木材を使用するなど温かみのある建物を作ってほしい。	平成30年4月1日現在、本市の公共建築物の耐震化率(耐震性能ランクⅠ)は99.19%となっています。現状、躯体の耐震性は確保されている状況ですが、コンクリートや鉄筋は経年劣化していきますので、大規模改修時に構造体(コンクリート、鉄筋)の状態を調査することにより、今後も耐震性を確認していきます。また調査結果に基づき、必要な対策を講じていきます。木材利用につきまして、現在、学校の内装等に県内産の木材を利用しているところですが、今後も継続して、積極的に利用していく予定です。
	バリアフリー	・バリアフリー化を進めてほしい(エレベータ含む)。	「各施設」において個別に対応します。
	トイレ洋式化	・トイレの洋式化を進めてほしい。	
	ネット環境	・施設のインターネット環境(Wi-Fi)を整えてほしい。	
	LED	・施設をLED化してほしい。	
	空調	・施設の空調化がなされていないところがある。	
防犯	・防犯的な面でも建物自体について安全性を高めていくべき。防犯カメラを設置するなど。		
情報発信	・市内にどんな公共施設(種類・場所、利用方法等)があるのかをそもそも知らない。ポスターやSNSを活用した公共施設の宣伝が必要。 ・施設をどのように利用したら良いか分からない。	公共施設の位置や機能、開館時間など、必要な情報をまとめた一覧を作成し、ホームページや広報みしまに掲載していきます。またパンフレットを作成し、転入者や希望者に配布していきます。なお、周知・PRにあたっては、SNSを有効活用していきます。【1年以内】	
利用料金(受益者負担)	・安い値段や無料で使用できることがよい。その結果、人が集まる場となり、コミュニティの場となっている。 ・受益者負担を上げるべき。	施設使用料については、施設ごとにそれぞれの算定基準で設定され、長年にわたって据え置かれてきた施設が見受けられます。使用料に関する基本的な考え方及び統一的な基準等を定めた基本方針の策定を検討します。【3年以内】	
利用予約	・予約の取り方が分かりづらい。簡略化してほしい。 ・それぞれの施設で予約方法が異なる。 ・施設の予約方法などが周知されていない。 ・窓口に行かないと施設の予約ができない。 ・施設の利用(予約など)をIT化し、予約に直接行く手間を省く。 ・公共施設を簡単に検索・予約できるシステムの導入	○生涯学習センターや体育館を始め、各施設の予約は、インターネットでできるよう改善します。【5年以内】 ※インターネットを利用しない方もいることから、窓口での予約受付も継続します。	

検討課題	項目	市民意見(要約)	計画への反映事項(対応方針)
民間活力	管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の運営について、民間に委託する。</li> <li>コンセッション(公共施設等運営権)事業の導入も検討すべき。</li> </ul>	<p>○経費削減、利用者の利便性向上、より魅力的なサービスの提供を目的に、公共施設の計画・建設・運営・貸付など全般を通して、民間活力の活用を検討してきます。</p> <p>&lt;実施予定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「三島市PPP/PFI手法活用ガイドライン(仮称)」を作成します。【令和3年度末まで】</li> <li>施設管理について、包括的民間委託の実施を検討します。(小さい規模から始めて、段階的に対象を広げていく予定です。はじめは庁舎本館、中央町別館、大社町別館を検討予定。)</li> <li>【令和3年度末までに検討】</li> <li>サウンディング調査実施予定施設(詳細は「各施設」に記載) 新庁舎、箱根の里、市営住宅、長伏プール跡地</li> </ul>
	空きスペース(民間企業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空いている公共施設や場所を民間に貸し出す。</li> <li>不要な施設を民間に売却する。また、施設自体がお金を稼ぐことのできるようにする。</li> </ul>	
	民間施設併設	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設だけに限らず、病院、スーパーなど、なんでもある集約施設を作る。そうすれば、1つのところで用事が完結する。また、人も集まる。さらにそこに行くための足として交通の便を良くし、シャトルバスを出す。</li> <li>公共施設をアミューズメント化する。</li> <li>三島駅周辺を基盤に商業施設と統合化を図る。</li> </ul>	
	機能委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニで取れる市の証明事項の種類を増やすなど、民間の施設をもっと利用する。</li> </ul>	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>スカイウォークができたおかげで、バスの数が増え、林道もできるなど、企業のおかげで地域の利便性が増えた。企業との連携で地域がもっと便利になると思う。</li> </ul>	
ボランティアの活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の運営を自治会にすべて委ねる。</li> <li>ボランティアの人が少ないので、増やしていくべき。人が集まれる場所にする。施設にカフェを併設すれば、活動の後にお茶ができるなど、ボランティアの人も集まりやすくなる。</li> <li>管理や運営にボランティアを入れるものよい。</li> </ul>	<p>公共施設の管理・運営は、利用者の安全性や利用者間の公平性を確保するため、行政もしくは指定管理者、委託業者などが責任をもって行う必要があると考えます。一方で、軽微な清掃や作業、施設の案内など、責任を負う必要のない事項については、ボランティアにお願いしたいと考えています。</p>
地域利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃止する施設は、地域に使ってもらうことを考える。地域にはまつりが得意な人もいるため山車置き場にするなど。</li> <li>将来的に使わない施設が増えるため、地域の自治会と相談し、自治会の公民館(地区集会所)の代わりとして使ってもらう。</li> </ul>	<p>サービスが不要となり、未利用となった土地・建物については、原則売却していく予定です。但し、地域住民による利用希望等がある場合は、その意向を十分に考慮して、方針を決めていきます。</p>
多機能化・複合化		<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的の機能があり、多世代で利用できる施設にするべき。</li> <li>今後作る施設は、色々な人が行くことができ、みんなが集うことのできる複合施設にする。</li> <li>公共施設は多世代の交流の場となっている。</li> <li>利用対象者、活用の方法が限られているので、多様性に対応してることが課題。</li> <li>学習の場等の理由でなら、公共施設を開放する。</li> </ul>	<p>「各施設」において個別に対応します。</p>

検討課題	項目	市民意見(要約)	計画への反映事項(対応方針)
交通・アクセス	駐車場	<p>○駐車場が足りない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン上で駐車場の混雑情報を確認できるようにする。</li> <li>・使用していない民間駐車場を提供してもらう。</li> <li>・まちなかは、特に駐車場がない。</li> <li>・障がい者や高齢者のための設備が健常者に使われ、障害者や高齢者が利用しにくくなっている。思いやり駐車場は施設入口付近ではなく、少し離すなど、障害者や高齢者が使いやすいように配慮してつくる。</li> </ul>	<p>市庁舎など、市街地にある公共施設については、一般的に駐車場スペースが不足している状況です。また、近接地に空いている土地がない場合が多く、拡充も難しい状況です。</p> <p>駐車場混雑の解消に向けて、民間の駐車場との連携、公共交通機関の利用促進、駐車場が広い公共施設への誘導(手続き、会議)、自宅やコンビニ等において実施できる手続き内容の拡充などを検討していきます。また、ご意見にもあるように、駐車場の混雑状況をスマホなどから確認できるシステムの作成を検討していきたいと思います。</p> <p>なお、建替えや移転等をする場合は、駐車場を広く取れることを、場所選定の条件に入れていきたいと思います。なお、他の条件等から、広い場所に移れない場合は、立体駐車場の建設を検討します。</p> <p>思いやり駐車場につきましては、障がい者や高齢者の方の意見を聞く中で、位置を検討していきたいと思います。障がい者や高齢者向けの設備を健常者が利用しないように周知することにも努めます。</p>
	公共交通機関	<p>○公共交通の充実を図ってほしい(民間バス、コミュニティバスの増便、シャトルバスの新設など、停留所を増やすなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きたうえ号を安くしてほしい。(きたうえ号200円・せせらぎ号100円)</li> <li>・高齢者が無料で乗れるバスをより充実させてほしい。</li> <li>・免許返納時代に対応した公共交通を整備してほしい。</li> <li>・郊外の住宅地では本数が少なく不便。バス路線図を更新し、市の中で空白がないように維持する。空白地帯は新しい交通手段を設ける。</li> <li>・自動車を持っていない人、高校生など運転できない人でも公共施設まで行けるように公共交通手段を維持する。</li> </ul>	<p>三島市地域公共交通網形成計画によると、公共交通サービスの人口カバー率(鉄道駅半径300m、バス停半径300mの圏域内の人口)は90.5%であり、現時点では充実した公共交通網となっています。</p> <p>今後、高齢者の運転免許証自主返納制度の利用がますます進むと予想されることから、現在の人口カバー率を維持していくことが重要と考えています。自動運転など、最新技術の導入を検討していきます。</p> <p>なお、統合、複合化、移転等により、公共施設の立地に変更があった場合は、バス路線図の見直しやシャトルバスの運行などを検討していきたいと思います。</p> <p>料金に関しては民間路線の利用を阻害せず、尚且つ収支状況も鑑みての設定となっており、適切な設定ができるよう、今後も調査研究を進めてまいります。また高齢者や免許返納者に対しては市から公共交通機関の利用助成券をお配りしておりますので、そちらもご利用いただければと思います。</p>
	歩道など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道を整備してほしい。</li> <li>・施設に行くにあたって、たどり着くまでの道が狭く、行くのが大変。学校周辺の道路が狭くて、危険。</li> <li>・国道一号線の歩道橋が負担になっている。136号線、国道1号線など広くて交通量の多い道路があるため、子どもの安全性が心配。</li> </ul>	<p>幅員が狭く歩行者通行の際に、十分な通行空間が確保できない道路があることは認識しています。道路利用者が安心して通行できるよう、歩道の設置を検討していきたいと思いますが、実施にあたりましては、沿道関係者の理解はもとより、地域の方との合意形成が整わないと事業化が困難なため、地元町内会と連携を取りながら地権者に協力を得られるように努力していきます。</p>
立地	地区による偏り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地には、施設が多く、利便性はいいが、他の地区には大きな施設がない。市全体のバランスとしてどうなのか。</li> <li>・地域によって施設の数に偏りがある。学校についても児童数にかたよがりがあるため、受け持つ先生の負担も増える。</li> </ul>	<p>体育館やプール、文化会館、生涯学習センター、市庁舎など、大きな施設が中心市街地に集中している状況です。また、インフラ施設の維持など、効率的なまちづくりとして、現在、コンパクトシティを推進しているため、今後も施設の中心市街地への集中は継続されると思いますが、市内各地区から中心市街地への交通利便性を高めることで対応していきたいと考えています。(施設の立地に関しては、立地適正化計画、地域公共交通網計画との整合を図りながら対応していきます。)</p>
	分散と集約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人を集められる場所と人を集めたい場所を分けて考える必要がある。</li> <li>人を集められる場所というのは、必要があって集まる場所であるため、分散させるのがよいと思う。(例えば市役所などがその例であるが、公民館に市役所の機能を移すなど分散させる)</li> <li>人を集めたい場所とは、言葉のとおり人を呼び寄せたいところであるため、そこに施設・設備を充実させる。施設が充実すれば人は行きたくなくなると思う。</li> </ul>	

検討課題	項目	市民意見(要約)	計画への反映事項(対応方針)
広域連携		この地区は沼津の大平も近いので、公共施設の貸し借りをします。	近隣市町との広域連携については、設置場所の選定や費用分担など、ハードルが高いですが、経費削減に大きな効果があると思われますので、将来的には検討していく必要があると考えています。
利用率の低い施設について	利用率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設があるのに使っていないのもったいない。</li> <li>利用者の減少。利用率が低いのは、その施設自体が使いづらいから。施設の維持管理費をためるために利用度をあげる。</li> <li>公民館を含む施設の管理を一元化し、稼働率を上げる。(例えば、会議室の空き状況を一元管理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率が低い原因としては、使いづらい、魅力がないと言った理由が考えられます。建物の改修や利用形態の見直しにより、より使いやすい施設にするとともに、さらに一歩すすめて付加価値を考えることにより、使ってみたいと思う施設にしていきたいと思えます。</li> <li>一方で、社会状況等の変化により、市民ニーズが変化し潜在的にもニーズが減少した施設については、確実に廃止し、経費の削減を図ってきます。</li> </ul>
廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設があることによって、過ぎにくい地域になったらいけないため、公共施設を廃止する勇気をもつことも大事。</li> <li>若者はただでさえ社会保障の負担増が予想される中で、これ以上若い世代に負担を強いることは避けたい。稼働率が低く、必要性の低い公共施設は、廃止していくことが望ましいのではないかな。</li> <li>(公共性と必要性を前提としながら)施設ごとに「入るお金」と「出るお金」を考える。それでもダメなら、施設廃止も検討(やめる勇気も大切！)</li> </ul>		
まちの魅力向上	人口増	<ul style="list-style-type: none"> <li>今よりもっと県外の人にも三島をPRして人口を増やす努力が必要。</li> <li>住民が増えていくまちになってほしい。</li> <li>まち全体にいえることであるが、子どもが成長しても戻ってきたいと思えるようなまちにしてほしい。</li> </ul>	公共施設を、にぎわいや交流の場の創出など、まち全体の魅力を高めるために利用していくことを考えていきます。
まちの活気	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの活気は駅を見ればわかると言われていたが、三島駅はたくさんの人で賑わっていると思う。周辺を整備し、さらに賑わいが生まれれば、よりよいまちづくりにつながる。</li> </ul>		

市民意見の個別施設計画への反映事項集計表【各施設】

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
庁舎施設	市役所本庁舎	<p>○建物の分散(来庁者利便性及び職員事務効率が低い。災害対策機能も分散される。)</p> <p>○会議室の不足及び非効率的な利用(回転率は48%であり、開庁時は不足状態。新たに作るスペースもない。一方で閉庁時間はほとんど利用されていない。)</p> <p>○駐車場の不足(約60台/日が市営中央駐車場を利用)</p> <p>○施設の老朽化による災害対策への不安(耐震工事は実施済だが、本館、中央町別館は築60年程度であるため、耐久性の低下による災害時の倒壊が懸念される。)</p>	<p>★新庁舎建設に伴う集約化及び複合化の受入れ【中期】</p> <p>※受入れ機能:総合防災センター、保健センター、社会福祉会館、電算センター、シルバー人材センター</p> <p>○立地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画に則り都市機能誘導区域内とする。</li> <li>・庁舎は、市全域から多くの人(職員、手続きに来る市民の方など)が集まる場所なので、市の中心部で交通の便のよい場所</li> <li>・地域経済への影響を考慮する。</li> <li>・災害対策本部となる施設なので、災害時に浸水や土砂崩れ等がない場所</li> </ul>	<p>○新庁舎を建設してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所は、中心市街地の活性化への影響を考慮して決めるべき。</li> <li>・民間活力を活用すべき。</li> <li>・施設を集約してほしい。(別館、保健センター、シルバー人材センター、社会福祉会館)</li> <li>・集約することにより、災害時にいっせいに機能しなくなることが懸念される。</li> <li>・駐車場不足を解消してほしい。</li> </ul> <p>○手続きをより身近でできるようにしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民課窓口機能等を、公民館など各地域の施設に持たてほしい。</li> <li>・IT技術を活用し、手続きをどこでも(自宅など)できるようにしてほしい。</li> </ul> <p>○案内役を設置してほしい。</p>	有	<p>○三島市スマート市役所宣言(令和元年12月23日)に基づき、新庁舎のコンセプトを「市役所に来る必要がない市役所」とし、AIやRPAなどを積極的に利用して、市民サービスのあり方を変えていきます。特にマイナンバーカードを利用したデジタルガバナンスを推進します。</p> <p>○ペーパーレス100%を達成し、職員が使いやすく、市民のために高いパフォーマンスを発揮できる環境を作ります。</p> <p>○休日や夜間における会議室のシェアリングを目指します。</p> <p>○ZEB(ネットゼロエネルギービル)省エネルギー化と自家発電の設置により、建物内で消費するエネルギー収支を実質ゼロにします。</p>
	市役所中央町別館					
	市役所大社町別館					
学校施設	小学校・中学校	<p>○児童生徒数の減少(一部の学校で児童生徒数の減少により、学校教育上の義務教育の機会均等や、教育水準の維持向上に影響が生じる可能性がある。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童数 2018年度:5,830人 1983年度:10,312人 クラス数 2018年度:217 1983年度:281</li> <li>・中学校生徒数 2018年度:2,908人 1983年度:5,056人 クラス数 2018年度:99 1983年度:126</li> <li>・将来人口推計(年少人口) 2015年:14,234人 ⇒ 2045年:9,209人</li> </ul> <p>○小学校調理場のコスト高(各学校に栄養士・調理員を配置し、自校調理を行っているため、共同調理による委託方式の中学校と比較すると割高となっている。)</p>	<p>★現状維持</p> <p>○教育的な観点から、学校のあり方の検討を開始する基準である「三島市立学校あり方検討指針策定」を作成して準備をすすめる。</p> <p>○学校は地域コミュニティの核となる施設と位置づけ、空いたスペースに子育て支援施設などの公共施設を複合化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校 ← 児童クラブ</li> <li>・東小 ← 東地区コミセン、エコセンター</li> <li>・西小 ← 西地区コミセン</li> <li>・南小 ← 南地区コミセン</li> <li>・北上小 ← 北上高齢者すこやかセンター</li> <li>・北中 ← 北地区コミセン</li> </ul> <p>○小学校の共同調理場設置の可能性について調査研究を行う。</p>	<p>○地域の拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校にコミュニティ施設を併設するなど、施設をまとめる。</li> <li>・公民館と連携させるなど小学校をハブ化してほしい。</li> </ul> <p>○空き教室の活用(多世代交流、民間利用、防災対応、市の出張所、公民館機能、スポーツ施設など)</p> <p>○設備改修(老朽化、バリアフリー、トイレ洋式化)</p> <p>○統合の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合についても考えていくべき。</li> <li>・学校教育を統合し、幼稚園・保育園・小学校を統合</li> <li>・学級数が多い方が教育に効果がある。</li> <li>・統合により、通学距離が長くなり多少不便はあるが、路線バスが残ることには期待できる。</li> <li>※小学校は重要であるため、坂地区など小さい地区においても小学校なくすのではなく、小学校・中学校の統合をしてでも残した方がよい。</li> </ul> <p>○学区の見直し</p> <p>小学校区と自治会の区域が異なり、地域が分別されているのを直してほしい。</p> <p>○グラウンド開放の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○屋外プール廃止に伴う学校プールの開放</li> <li>○中学校への障害者支援クラスの設置</li> </ul>	有	<p>○学校への複合化・多機能化について</p> <p>&lt;授業時間中&gt;</p> <p>不特定多数の方が学校へ入って来ることにより、児童の安全・安心が脅かされないか、また地域活動により教育環境が阻害されないか等、複合化・多機能化により様々な問題の発生が懸念されます。これらの懸念を解消して、地域の施設を学校へ複合化するためには、学校を含む地域としてのより深い議論が必要になると考えられます。今後、コミセンの複合化をきっかけとして、地域と学校のあり方を深く議論していきたいと考えます。また、コミセンの学校への複合化をモデルケースとして、他の施設の複合化について、検討していきます。【5年以内】</p> <p>&lt;授業時間外(土日・夜)&gt;</p> <p>学校運営に支障のない範囲で、学校施設の開放を進めていきます。特に、教室を災害時に避難所として利用することを検討していきます。【3年以内】</p> <p>○施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学校のトイレを令和7年度までに改修します。(年に2~3校ずつのペース)</li> <li>・15年以内の全21校のLED化を、リース等の手法を含めて検討していきます。</li> <li>・15年以内に全21校にエレベーターを設置します。(空調、電子黒板は設置済)</li> </ul>

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
子育て支援施設全般		<p><b>【参考】三島市子ども・子育て支援事業計画(平成29年3月)</b>  ○量の見込み(必要利用定員総数)について【平成31年度】  ・幼稚園(3～5才):1,535人  ・保育園(3～5才):1,061人  ・保育園(0～2才):902人  ・放課後児童クラブ:平成31年度に、供給が足りないと予想しているブロック ⇒ 西小、北小、北上小</p> <p><b>【市民意見】</b>  ○多世代交流の推進  子どもから高齢者まで、多世代の人が交流できる場を作ってほしい。  ・学校等の公共施設の空きスペースを利用する。このとき、防犯上のセキュリティ強化が必要。  ・食堂があるとよい。  ・高齢者や幼児(その保護者)が行きやすいように、公共交通機関を充実させる。  ○子ども向け施設の充実  子どもがいない地域には未来が無いため、子どもや若い世帯、子育て世代が利用できる施設を確保してほしい。  ・子どもが自由に遊べる施設や図書館がないため、すべての機能をまとめた総合施設・小中学生全員が学ぶことのできる施設ができればよい。  ・幼児預りのサービスを空き教室で実施する。ボランティアを含めた“見てくれる人”の確保が必要。</p>				
幼稚園・保育園	幼稚園	<p>○充足率の低下  ・2018年度充足率 54.8%(利用者731人/定員1,335人)  ・入所の申し込み者数の推移(継続入所含む)  2015年:975人 2016年:915人 2017年:829人  ・私立幼稚園(3園)の充足率  90.2%(利用者537人/定員595人)  ・民間認定こども園(2園)の充足率  95.2%(利用者200人/定員210人)  ○三島市立幼稚園の適正配置に関する提言書(H24.2)  ・旧市内:東、西、北【3園】⇒ 東、北【2園】  ・北上:徳倉、沢地【2園】⇒ 徳倉【1園】  ・錦田:錦田、坂、旭ヶ丘【3園】⇒ 錦田【1園】  ・中郷:南、松本、大場【3園】⇒ 南、統合園【2園】</p>	<p>★在園児数や申込の状況を勘案しつつ統合等による適正配置を検討  (民間幼稚園の充足率維持または向上を図る。)</p> <p>※組合せ例:東幼稚園と南幼稚園、西幼稚園と北幼稚園、錦田幼稚園と坂幼稚園と旭ヶ丘幼稚園、徳倉幼稚園と沢地幼稚園、松本幼稚園と大場幼稚園</p> <p>○存続させる園について、空きスペースがあれば、複合化を受け入れる。</p>	<p>○空き教室の有効利用  ・例えば、高齢者も利用できるようにして多世代交流の場とするなど。  ○需要に合わせて、幼稚園を保育園に用途変更する。  ○地域性  ・各小学校区に一つは幼稚園があるとよい。  ・保育園や幼稚園などは、地域に根付いている。  ○教育の統合  ・幼稚園・保育園・小学校を統合する。  ・幼稚園・保育園と小中一貫のマンモス校を市内の南と北に1つずつ作る。そこへバスを通す。  ○屋外プール廃止の代替として、プールを開放。</p>	有	幼稚園の空き教室を利用した子育て支援施設等との複合化を実施します。 また、幼稚園の預かり保育の時間帯の延長について、実施園を選定し、モデルケースとして実施します。  ※預かり保育 幼稚園の在園児を対象とした教育時間前後の保育。
幼稚園・保育園	保育園	<p>○現状:充足率が100%超(施設が足りない。)  ・2018年度充足率 105.3%(利用者553人/定員525人)  ・入所の申し込み者数の推移(民間含む)  2016年:2,009人 2017年:2,040人 2018年:2,169人  ・私立保育園(12園)の充足率  104.6%(利用者1260人/定員1205人)  ・民間認定こども園(2園)の充足率  95.7%(利用者135人/定員141人)  ・民間小規模保育事業所(3箇所)  78.9%(利用者45人/定員57人)  ○将来:充足率の低下(少子化の進行により、需要が減ることが予想される。)</p>	<p>★在園児数や申込の状況を勘案しつつ統合又は民営化による適正配置を検討  (保育事業に関しては民間事業者を主と考える。)</p> <p>※組合せ例:伊豆佐野保育園と光ヶ丘保育園、緑町佐野保育園と青木保育園</p>	<p>○施設の拡充  ・保育園の数が足りていない。  ・需要に合わせて幼稚園を保育園に用途変更する。  ○多世代交流  ・高齢者でも利用できる施設になるとよい。  ○教育の統合  ・幼稚園・保育園・小学校を統合する。  ・幼稚園・保育園と小中一貫のマンモス校を市内の南と北に1つずつ作る。そこへバスを通す。  ○民間の力を使う。  ○保育園や幼稚園などは、地域に根付いている。</p>	有	民間活力を活用した保育所等の施設整備を支援します。
子育て支援施設	本町子育て支援センター	<p>○専用の広い駐車場がない(本町タワーの4階フロアにある。近隣駐車場は有料。1階スーパーを利用すれば1時間無料。)  ○利用者数が減少傾向(近隣市町に同種の魅力的な施設ができた。)  ・利用者数の推移(遊戯室・交流広場)  2015年:30,453人 2016年:30,206人 2017年:27,606人  ○コストが少し高い</p>	<p>☆現保健センターの建物へ移動を検討【中期】  (駐車場がある程度取れる。)</p> <p>○指定管理者制度の導入または業務委託を検討</p>	<p>○異なる世代が触れ合える、交流できる施設にしてほしい(市民活動センターとの交流)</p>	有	○子育て支援センター内の休憩スペースを、一般の方も利用できるように開放します。 同じフロアにある市民活動センターは、ボランティア活動の拠点となっており、会議等で来る方が多いです。時間よりも早く来た場合、また会議終わりに次の予定まで時間がある場合は、子育て支援センターに行っていたら、子どもと触れ合えるようにします。 ○防犯カメラを設置します。また古くなった遊具を入れ替えます。【3年以内】
子育て支援施設	発達支援センター(発達障がい児支援。～中学生)	<p>○建物の分散(児童発達支援事業所と離れており、同一課内で速やかな連携や共通理解が図りにくい。)</p>	<p>★現状維持</p>	<p>○施設の充実</p>	無	
子育て支援施設	児童発達支援事業所(発達障がい児支援。3～5才)	<p>○アクセスが悪い(公共交通機関が少ない。)  ○建物形態が事業に合っていない(旧幼稚園園舎を転用しているため、建物の形態が、発達支援事業に合っていない。築43年。)</p>	<p>☆建替えに伴い、発達支援センターの近くに移転【中期】</p>	<p>○施設の充実</p>	無	
子育て支援施設	児童クラブ	<p>○面積の不足  ○支援員数の不足(施設数の増加に比例した支援員数の確保が難しい状況である。)</p>	<p>★現状維持  ○児童1人あたりの面積の適正化を図るため、小学校の空きスペースを活用していく。  ○並行して、民間活力の活用を検討する。</p>	<p>○特になし</p>	無	

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
保健福祉施設全般		<p><b>【参考①】三島市地域福祉計画・三島市地域福祉活動計画(平成28年3月)</b>  ○推進すべき地域福祉の課題:地域で集うきっかけや拠点づくり  ○推進施策  ・交流拠点の整備や拡充  交流の拠点となっている老人福祉センター、地域子育て支援センター等を適正管理し維持していく。  学校や保育園などの公共施設の利用開放に取り組む。  ・公共施設のバリアフリー化  指定避難所となっている屋内運動場の出入口にスロープを設置  小中学校のトイレ等のバリアフリー化  ・スポーツを通じた生きがいや健康づくり  学校教育に支障のない範囲で、体育館やグラウンドなどの学校施設の開放</p>				
		<p><b>【参考②】三島市高齢者保健福祉計画・三島市介護保険事業計画(平成30年3月)</b>  ○施策  ・高齢者の生きがい &gt; 社会活動の促進 &gt; 社会活動への参加支援  生きがい教室事業(小学校の余裕教室、北上高齢者すこやかセンター)、老人福祉センター:維持していく。  ・就労等への支援  高齢者いきがいセンター(シルバー人材センター):維持していく  ・認知症の人の家族への支援 &gt; 認知症カフェ事業  認知症についての相談、情報提供、普及啓発を行うとともに、誰もが参加し集うことができる場所として認知症カフェを設立する。  ・支え合う地域づくりの推進 &gt; 高齢者くらし相談事業  養護老人ホーム:老朽化や入所者の減少等の諸課題の解決に向けて、方向性を検討  ・高齢者にとって利用しやすい公共施設や地域環境の整備に努め、生活の場の拡大が図れるようにユニバーサルデザインのまちづくりを進めていく。</p>				
		<p><b>【参考③】三島市障害者計画(平成30年3月)</b>  ○施設サービスの充実  佐野あゆみの里は、障がい者福祉施設の拠点。(災害時や情報共有に関して)  ○療育・保育体制の充実  発達に課題のある子どもと保護者への支援として、療育支援室の充実させるとともに、発達支援センターを設立する。  ○福祉的就労の推進  生涯学習センターに職業訓練の場や特別支援学級などの生徒の実習の場を確保する。  ○官公庁施設・公共的施設等のバリアフリー化  公共空間(建築物、道路、公園等)のバリアフリー化を推進</p>				
		<p><b>【参考④】三島市健康づくり計画(平成29年3月)</b>  ○取り組みの方向性  ・運動、スポーツ  ・いきがい、地域づくり</p>				
		<p><b>【市民意見】</b>  ○高齢者向け施設の充実  ・健康センターのような地域に根差した施設がほしい。  ・学校の空き教室にデイケアを入れる。  ・免許返納が叫ばれている時代であるため、歩いていける施設を作ってほしい。市内にはお寺が多いため使わせてもらう。  ○多世代交流の場  ・小中学生や高齢者が一緒に触れ合える場を作ってほしい。  ・車社会になって、ご近所とのふれあいが減ったと思うので、小さいうちから地域と関わることを教えていってほしい。</p>				
保健福祉施設	市立養護老人ホーム 佐野楽寿寮	<p>○充足率が低い(潜在的なニーズはあると思われるが、施設形態が利用対象者の実情に合っていないため、充足率が低い。和室。)  2017年度充足率 30.0%(入所者15/定員50)  ○利用者が少なく、直営であるため高コスト</p>	<p><b>★廃止【中期】</b>  (市立養護老人ホーム佐野楽寿寮あり方検討委員会の結論に従い耐用年数終了を迎えるまでは存続)  ※民間でできることは、できるだけ民間に任せる。</p>	○幼稚園との複合施設とする。	有	<p>○より多くの利用希望者に対応するため、フローリング化及びベッドの導入を進めていきます。10部屋程度【5年以内】  ○空き部屋については、多世代交流の場としての利用を検討していきます。【3年以内】</p>
	老人福祉センター (カラオケ、浴場など)	<p>○利用者は多く賑わっている  ・利用者数の推移  2015年:70,783人 2016年:71,048人 2017年:70,928人  ○借地をしている  ○駐車場が狭い(48台)</p>	<p><b>★現状維持</b>  ※設備の改修時に合わせて、利用料金制度の導入を検討する</p>	<p>○利用者制限の撤廃  ・広い世代が利用できるようにするべき。  ○設備改修  ・入り口が暗い、赤い絨毯はふさわしくない。  ・椅子がない。  ・バリアフリー化  ○利用者負担を増額するべき。</p>	有	<p>○屋上防水、外壁補修に加え、バリアフリー化やLED化等を含む内装改修を行います。  ○改修に合わせて、夜間の一般団体等への貸出しについて検討します。(年齢制限の撤廃が必要)  ○一般団体等への貸出しにあたり、需要が見込める設備を新たに導入します。(麻雀、ゲーム、サウナなど)  ○また、施設・設備改修に合わせて、利用者負担の増額を検討します。  【3年以内】</p>

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
保健福祉施設	北上高齢者すこやかセンター (手芸、体操等の教室)	○市境に立地している。 ※他の地区では、いきがい教室は学校の空き教室に設置されている。	★北上小学校へ複合化【短期】	○現状維持としてほしい。 ○北上小に移動する場合は、無料バス等を出してほしい。	有	北上小学校へ複合化することにより、北小学校区、北上小学校区及び徳倉小学校区の方が広く利用する施設へとリニューアルします。 また小学校へ複合化することにより、小学生との交流を促進していきます。 【2029年】
	高齢者いきがいセンター (シルバー人材センター、貸館)	○利用者が少ない 2017年度 貸館の回転率:15.3% 年間利用者数1,810人 ○利用者用の駐車場がない ○シルバー人材センターの執務室は、庁舎内にあった方が、利用者の利便性が高いと考えられる。	★新庁舎へ複合化【中期】	○市役所、シルバー人材センター、社会福祉会館、保健センターの集約。	無	
	社会福祉会館 (社会福祉協議会、貸館)	○利用率が低い 2017年度 貸館の回転率:22.2% 年間利用者数24,261人 ○本庁舎と離れており、市民の利便性が低い。 ○利用者用の駐車場がほとんどない。(3台)	★新庁舎へ複合化【中期】	○市役所、シルバー人材センター、社会福祉会館、保健センターの集約。 ○駐車場が狭い。 ○施設の周知不足	無	
	保健センター	○本庁舎と離れている((来庁者利便性及び職員事務効率が低い。また災害発生時に医療対策本部は保健センターに設置されるため、災害対策本部と離れてしまう。) ○アクセスが悪い(駐車場が不足している。また、駅から本施設までの歩道が整備されていない。) ○会議室等の利用率が低い(回転率7.5%) ○高齢化社会に対応するため、地域に密着した健康づくりの体制が必要	★新庁舎へ複合化【中期】 ○中学校の空きスペースを活用して分室を作れないか検討	○市役所、シルバー人材センター、社会福祉会館、保健センターの集約。 ○駐車場が狭い。	無	
	佐野あゆみの里 (障がい者に対する日常生活支援)	○直営のため、人件費が高い。 ○職員の不足(正規職員の減少)、高齢化(若い支援員の希望(応募)が少ない)	★現状維持 ○運営方法について、業務委託等の導入について検討	○特になし	無	
	佐野あゆみの里南棟 (障がい者預かり、貸館)	○建物が事業形態に合っていない(エレベーターや昇降機がなく、設備にも問題があるため、障がいの程度によっては利用できない。) ○貸館の利用率が低い 2017年度 貸館の回転率:20.7% 年間利用者数3,120人	★廃止【短期】 (障がい者預かりについては、市内外の福祉事業所で受け入れてもらう。) ○土地について、地元自治会が希望するのであれば、公民館用地として無償貸し付け。(希望しない場合は売却)	○自治会の公民館として利用したい。	無	
	おんすいち作業所 (障がい者日常支援)	○社会福祉協議会が運営している	★建物について、福祉団体へ売却等【短期】	○特になし	無	
	さわじ作業所 (障がい者就労支援)			○周知不足	無	

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
生涯学習施設全般		<p><b>【参考】三島市生涯学習推進プラン(平成28年3月)</b></p> <p>○利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターや公民館に求めるもの 地域コミュニティづくり:50%、教養を高める学習活動:47.7%、知識と情報の拠点として機能:33.3%、地域住民の健康づくり:30.6%</li> <li>・不満が多い項目 生涯学習施設の設備、開館時間、利用料金</li> </ul> <p>○基本的方向 学びの環境づくり 学習環境の整備・充実 誰もが生涯学習に気軽にいつでも取り組めるように、生涯学習を行える施設として学校の利用や各公共施設の有効利用をはかります。(学校施設開放事業、学校体育施設開放事業)</p>				
生涯学習施設	生涯学習センター(貸館、図書館など)	<p>○地下駐車場が未利用状態(改修費が高額なので利用にあたっては費用対効果を検討する必要がある)</p> <p>○借地をしている</p>	<p>★現状維持</p> <p>○地下駐車場跡地の活用について、倉庫を主に費用対効果の面から検討 ※生涯学習センターの利用者の荷物が優先 ※残りのスペースに、コミュセンにある防災備蓄品を収納</p>	<p>○多世代交流の場を作ってほしい。(児童センターに大人もいって楽しめるように。)</p> <p>○施設改修(椅子が狭くて足があたるため、広い椅子がほしい。)</p> <p>○駐車場を利用者以外にも開放してほしい。</p> <p>○施設の周知不足</p> <p>○図書館の職員は専門知識を持った人にしてほしい。</p> <p>○図書館の開館日時の変更(他市町とずらす、児童コーナーの延長)</p>	無	
	中郷文化プラザ	○借地をしている	★現状維持	<p>○小学校との連携が取れていない。</p> <p>○コンビニ又は自販機を設置してほしい。</p> <p>○市民課窓口機能の拡充</p> <p>○図書館機能を学校への集約したらどうか。</p> <p>○災害拠点にしてほしい。</p> <p>○高齢者が活用できる施設にしてほしい。</p>	無	
	北上文化プラザ	<p>○借地をしている</p> <p>○和室の利用率が低い(回転率17%程度)</p>	★現状維持	<p>○市民課窓口機能の拡充</p> <p>○予約手続きを簡略化してほしい。</p> <p>○運動ができる場所(ジム)がほしい。</p>	無	
	錦田公民館	<p>○借地をしている</p> <p>○利用率の低い部屋がある 児童室:回転率4.1% 東和室:17.3%</p>	<p>★現状維持</p> <p>○施設改修により、使いやすさを向上させる。</p>	<p>○市民課窓口機能を持たせる。</p> <p>○少人数でも借りることのできるスペースがほしい。</p> <p>○日曜日に開館してほしい。</p> <p>○立地アクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所が分かりづらい。</li> <li>・道が狭く、車の出入りが危険</li> </ul> <p>○利用方法の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけでも使えるスペースがほしい。</li> <li>・予約していなくても、空いていれば使わせてほしい。</li> </ul> <p>○施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化しているので直してほしい。</li> <li>・エレベーターを設置してほしい。</li> </ul> <p>○利用料金の見直ししてほしい。</p> <p>○予約手続きを簡略化してほしい。(ネットや電話で可能に)</p>	有	○高齢者の利用に対応するため、バリアフリー化改修及びトイレの洋式化改修を行います。【5年以内】
	坂公民館	<p>○利用率が低い(地元の方の利用が少ない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転率:20.0%</li> <li>・地元の方の利用は約2割</li> </ul>	★現状維持	<p>○坂公民館を中心にイベントが行われ、坂公民館は地域に根差した施設になっている。</p> <p>○坂小学校への複合化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂小学校に幼稚園や坂公民館を複合化し、子どもから高齢者まで多世代間の交流を促進する。</li> </ul> <p>○利用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日に開館してほしい。</li> <li>・飲食可能にしてほしい。</li> </ul> <p>○利用対象の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂地域外、市外、企業の方も利用できるようにする。</li> </ul> <p>○市民課窓口機能を持たせる</p> <p>○施設改修(老朽化対策)</p>	無	
	箱根の里(自然の中の宿泊施設)	<p>○利用効率が悪い(主に利用されるのが夏のみ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年稼働率 宿泊棟47.8% キャンプ場19.9%</li> </ul> <p>○直営なので、高コスト</p>	★民営化を含めたあり方の検討【短期】	<p>○民営化せず現状のまま直営とすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直営の方が、小回りで融通が利く。</li> <li>・教育の費用対効果を考えるべきではない。</li> </ul> <p>○施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化しているので改修してほしい</li> </ul> <p>○日本にこしかないオンリーワン施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化するなど、他市町と差別化する。</li> </ul> <p>○利用率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の利用を促進する</li> <li>・プラネタリウムの周知</li> </ul> <p>○利用条件の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お酒を飲める日を設定、夜間の音楽イベントを開催</li> </ul>	有	○民間活力の活用を検討します。【20年以内】 ○利用者の増加に向けて、芝生広場の有効利用を検討します。 例:サッカーグラウンド、ドローンの練習場【5年以内】

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映			
					有無	内容		
コミュニティ防災関連施設全般		<p><b>【参考】三島市地域防災計画(平成31年3月)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各公共施設の災害時の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害拠点関連 災害対策本部:総合防災センター、医療救護本部:保健センター、災害ボランティア本部:社会福祉会館、警察活動拠点:市民文化会館、緊急物資集積所:市民体育館、動物救護所:エコセンター</li> <li>・本庁窓口代替施設 コミュニティ防災センター、生涯学習センター、中郷・北上・中郷公民館</li> <li>・避難所 指定避難所:市立小中学校及び県立高校(屋内運動場、柔剣道場)、 指定緊急避難所:指定避難所+楽寿園(広域避難地)、地区集会所・坂公民館、県総合健康センター、 福祉避難所:佐野あゆみの里、民間の老人ホーム・障害者支援施設・保育園</li> </ul> </li> <li>○防災上重要な建物の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設:学校、庁舎等、地域防災拠点施設(地区コミュニティ防災センター)、不特定多数が利用する公的建築物</li> <li>・対策事業:非構造部材(天井など)の耐震化、防災拠点について防災資機材や避難生活品、非常用食料等の整備</li> </ul> </li> </ul>				<p><b>【市民意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強い公共施設にしてほしい。安全・安心であることが重要。(耐震性、土砂崩れによる被害を受けない、浸水しない等)</li> <li>・公共施設に、災害時に必要な機能を持たせてほしい。(太陽光発電の設置、食料、毛布等の避難所としての必要品の備蓄など)</li> <li>・空き教室などを災害時に利用する。</li> </ul> </li> <li>○コミュニティ関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校にコミュニティ施設を併設するなど、施設をまとめる。</li> </ul> </li> </ul>	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に学校の教室を避難所として活用します。<b>【3年以内】</b></li> <li>○災害時に避難所となる学校の屋内運動場にWi-Fi設備を整備します。<b>【10年以内】</b></li> </ul>
コミュニティ防災関連施設	市民活動センター(会議室の貸館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用率は高い 2017年度 回転率67.8%</li> <li>○専用の駐車場がない</li> </ul>	☆現保健センターの建物へ移動【中期】	○異なる世代が触れ合える、交流できる施設にしてほしい。(子育て支援センターとの交流)	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センター内の休憩スペースを、一般の方も利用できるように開放します。市民活動センターは、ボランティア活動の拠点となっており、会議等で来る方が多いです。時間よりも早く来た場合、また会議終わりに次の予定まで時間がある場合は、子育て支援センターに行っていたら、子どもと触れ合えるようにします。<b>【3年以内】</b></li> </ul>		
	総合防災センター(通常は貸館。)	○本庁舎と別の棟にある	★新庁舎へ複合化【中期】	○特になし	無			
	コミュニティ・防災センター【東、西、南、北】(貸館及び防災備蓄品の倉庫)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用率が低い 2017年度 回転率 東:15.3% 西:8.4% 南:11.9% 北:18.4%</li> <li>○借地をしている 東、南</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★貸館 東小、西小、南小、北中へ複合化【短期】</li> <li>★災害備蓄品 生涯学習センター地下駐車場への収納を検討【短期】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西コミは人が集まりやすく、地域の方のよりどころとなっている。【西】</li> <li>○設備が不十分(バリアフリー化されていない。トイレが古い。駐車場がない。)<b>【西】</b></li> <li>○防災用品を生涯学習センターへ取りに行くことは困難<b>【西】</b></li> </ul>	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティセンターは、自治会や子ども会など、小学校区内の団体に主に利用されており、まさに地域の施設となっています。コミュニティセンターの学校への複合化を、地域の活動や繋がり、また地域における学校の役割など、地域のあり方を考え、議論していくきっかけとします。また、本事業を、地域の施設が学校へ入って行くモデルケースとします。<b>【5年以内】</b></li> <li>○各防災センターの災害備蓄品について管理及び配布の効率性を上げるため、新庁舎へ複合化します。新庁舎建設までは、一時的に、他の公共施設の空きスペースに保管します。</li> </ul>		
市営住宅施設	市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入居待ちが発生している(国は新規団地の建設を認めていない。)</li> <li>○利便性の悪い立地にある施設並びに、風呂等の設備がない施設については、入居希望者が少ない。</li> <li>2018年度充足率 88.2%(入居戸数644/全戸数730)</li> <li>※47戸は、改修に伴う仮移転先として政策的に空けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★現状維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>○利便性等を考慮し、部屋数の施設間調整を行う <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大:日の出町【中期】、藤代【短期】、南二日町【短期】</li> <li>・縮小:光ヶ丘【長期】、山田【短期】、柳郷地【中期】</li> </ul> </li> <li>○建て替え時に複合化施設の受入れを検討</li> </ul> </li> <li>※三島市住宅マスタープラン(平成28年3月改訂)及び三島市公営住宅等長寿命化計画に基づいて、統廃合、建替え、改修、修繕等を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設拡充による入居待ちの解消。特に空き家を市営住宅として提供。</li> <li>○駐車場が狭い。【千枚原】</li> </ul>	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤代住宅の建替えに伴い、山田住宅の一部を統合する予定です。建替え事業及び山田住宅一部跡地の利活用についてサウンディング調査を行います。<b>【現在検討中】</b></li> </ul>		

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
文化施設全般		<p><b>【参考】三島市文化振興基本計画(平成28年3月)</b>  ○施策の展開 文化施設等をひらかれた場にする  市民文化会館や郷土資料館等が、人々が集い、交流し、地域ににぎわいと活力をもたらす拠点となるよう施設の活用を推進します。  市民文化会館の適切な維持管理や計画的な改修を進めるとともに、施設内のフリースペースなどを活用して、人が集まり、交流することができる誰もが利用しやすい拠点として再整備します。</p> <p>○重点プロジェクト 市民文化会館を「新しい広場」にプロジェクト  大・小ホールや舞台音響設備及び照明設備の改修、吊り天井の改修工事、会議室等の機能回復修繕 → H31実施  屋外広場や市民ロビー等のリニューアルを行い、文化の創造・交流拠点として整備</p> <p><b>【参考】第2次三島市環境基本計画後期計画(平成29年3月)</b>  ○施策の内容:保育園や幼稚園、小・中学校における環境教育を推進します。  ○戦略プロジェクトにも環境教育の推進を位置づけ</p>				
文化施設	市民文化会館	<p>○借地をしている</p> <p>○来客用の駐車場がない</p> <p>○三島市民文化会館改修基本計画(平成29年2月)</p>	<p>★現状維持  (三島駅から徒歩3分という好立地を優先する)</p>	<p>○三島の文化価値のあがるような施設の設定  ○施設改修(椅子が狭くて足が当たるため、広い椅子がほしい。)</p>	有	<p>○文化会館を、人が集まり、また集まった人が街中へ回遊し、にぎわいを生み出す拠点となるように改修します。(改修内容は市民ワークショップや利用者ヒアリングなど、市民の声を聴いて検討したものです。)</p> <p>・屋外広場について、ガス灯、石製ベンチ、からくり時計等を撤去して広い空間を作るとともに、イベント用のステージを設置します。</p> <p>・トイレを洋式便座に改修し、また大ホール女子トイレの段差を解消します。</p> <p>・明るい雰囲気を作るため、照明を明るくし、壁・天井・床の張替えを行います。</p> <p>・イベントがない時にも人が集まり、憩えるように、1階ロビーを開放的に改修し、椅子や机などを修繕します。また、地下ロビーを改修し、ギャラリーとしても活用できるスペースを設けます。</p> <p><b>【令和2年10月1日リニューアルオープン】</b></p>
	郷土資料館	<p>○楽寿園の最も奥にあるため、来園者に認知されにくい。</p>	<p>★現状維持</p>	<p>○三島の文化価値のあがるような施設の設定</p>	無	
	エコセンター (建物は文化財、一般公開あり、環境ボランティア活動)	<p>○建物は文化財だが、一般見学者を多く呼べる施設ではない。</p> <p>○消防法の規制や駐車場が少ないことにより、イベント会場や集会所として利用しにくい。</p> <p>利用者数の推移  2015年度:2,491人 2016年度:4,059人 2017年度:2,310人</p>	<p>☆建物については倉庫へ転用【短期】  (旧北上公民館にある文化財を収納予定)</p> <p>★環境活動については、東小学校へ複合化【短期】</p>	<p>○特になし</p>	無	
産業関連施設	三嶋曆師の館 (建物は文化財、一般公開あり)	<p>○利用者数が少なく、減少傾向  利用者数の推移  2015年度:3,831人 2016年度:3,806人 2017年度:3,427人  2005年度:4,947人</p>	<p>★現状維持  ○経費削減のため、開館日数の見直しを検討</p>	<p>○特になし</p>	無	
	市営中央駐車場	<p>○利用件数の減少が予想される(周辺にコインパーキング等が増加している。)  利用件数の推移  2015年度:137,257 2016年度:141,246 2017年度:139,397  2008年度:154,912</p> <p>○市役所関連の利用が多い(台数ベース約50%、売り上げベース約30%)</p>	<p>★民営化検討【中期】  市営中央駐車場ファシリティマネジメント検討委員会の結論に従い、庁舎建て替えまで駐車場機能の維持を条件に民間へ売却する。(庁舎関連以外の利用については、周辺の民間駐車場で需要を賄える、)</p>	<p>○混雑解消(いつも混んでいて、上の方に停めさせられる。)  ○駐車料金が低い。</p>	無	
	三島駅北口自転車等駐車場	<p>○市外の利用割合が高い(市内48%、市外52%)</p> <p>○管理委託料が高額</p>	<p>★現状維持</p>	<p>○特になし</p>	無	

施設分類	施設名	施設の問題点(施設評価結果)、背景など	対策内容(素案)	市民意見(要約)	市民意見の計画への反映	
					有無	内容
公園施設	楽寿園	<p>○梅御殿の利用率が低い(梅御殿は、文化財の側面が強く、一般利用を目的とした施設ではない。) 2017年度 回転率:17.0% 利用者数:3,208人</p> <p>○借地をしている</p> <p>○三島駅周辺グランドデザイン(平成24年3月) 【課題】 ・市民の憩いの場、癒しの場としての機能が十分とはいえない。 ・駅から中心市街地への流入、回遊性向上に十分寄与していない。 ・園内施設の再配置を検討する余地がある。</p>	★現状維持	<p>○駅前にまとまった緑があることは、貴重であり、保全していくことが求められる。</p> <p>○入園無料化及び常時開放 ・回遊性が向上する ・人件費を削減できる ・期間を決めて、社会実験をしてみようか。</p> <p>○のりもの広場及びどうぶつ広場の廃止 ・経費を削減できる</p> <p>○人を呼べるイベントを開催する</p> <p>○施設等の整備 ・ミニコンサート場の整備 ・若者が集まれる多目的スペースの整備 ・民間のレストランやカフェの誘致</p> <p>○樹木等の整備にボランティアや造園業者の研修者を活用</p>	有	<p>○平成21年に指定管理者制度導入を含めた入園料無料化の検討を行いました。当時の議会や市民からの反対意見などもあり現在に至っています。</p> <p>○文化財の適正管理のため、楽寿館、梅御殿の耐震化を実施します。【5年以内】</p> <p>○様々な目的に対応できるように、屋外ステージを改修します。【5年以内】</p>
体育施設全般		<p>【参考】三島市スポーツ推進計画(平成28年3月)</p> <p>○アンケート結果 市内公共スポーツ施設の満足度 満足している:9.4% 不満がある:28.3% 今後設置してほしい施設 ウォーキング・ジョギングコース32.9% トレーニングジム24.1%</p> <p>○施策展開の方向性 ・地域の絆を創る身近なスポーツ環境の整備 学校の施設開放や公民館など、日常生活に身近なスポーツの場をより活用できる仕組みを整備し、地域における幅広い世代のスポーツ活動を推進する。 ・スポーツ施設の整備促進 市のファシリティマネジメント方針を踏まえて、本市が所有するスポーツ施設の適正化を図るとともに、市民ニーズを的確に捉えて、スポーツ健幸都市のシンボルとなる施設や環境(公園や道路など)の整備を推進する。</p>				
体育施設	市民体育館	○利用希望が多く、使用できない人や団体が発生している 2017年度 回転率:73.3% 利用者数:207,453人	★現状維持 (同種サービスが民間施設にもある)	<p>○施設を充実させてほしい。 ・空きがなく利用できないことが多い。 ・トレーニング器具が少ない。 ・施設を新しくしてほしい。</p> <p>○教室やプログラムの開催を充実させてほしい。 ・障がい者、女性、子ども向け</p>	有	<p>スポーツ健幸都市のシンボル施設となるように、施設改修を行います。【2021～2022年】</p> <p>・近年の猛暑に対応するため、空調を設置します。 ・床の張替えを行います。 ・バリアフリー化改修(エレベーターの設置)の実施を検討します。</p>
	市民温水プール	○利用者数は多い(年間利用者約12万人) ○入場待ちの発生(曜日や時間帯によっては混雑する。特に7月と8月には入場待ちが発生することがある。)	★現状維持 (同種サービスが民間施設にもある)	○特になし	無	
	長伏プール (屋外プール)	○利用者が少なく、減少傾向 利用者数の推移 2015年度:8,258人 2016年度:8,086人 2017年度:7,883人 2001年度:40,264人	★廃止【短期】 (小学校プールの開放を検討する)	<p>○廃止の代替 ・幼稚園や小学校のプールを開放してほしい。小学校のプールを年間を通して利用できるように改修してほしい。(温室ハウスを付けるなど) ・廃止後は、グランドゴルフなどができる場所として整備してほしい。</p> <p>○複合施設 ・上岩崎公園・長伏公園などは、プールも隣接しており、複合施設のようになっていてよい。 ・長伏プール、長伏公園、グラウンドなどが近くにあり、利便性がある。地域住民、子どもにとっても非常に使いやすい。</p>	有	<p>長伏プールの廃止後跡地については、長伏公園、長伏グラウンドを含めて、スポーツ健幸都市のシンボルとなる環境を整備します。整備にあたっては、地域の声を聴き、民間活力(Park-PFIなど)を活用していきます。【5年以内】</p> <p>・多世代交流の場となる建築物を整備。 晴れの日は公園で、雨天時等は室内で遊べる。 ⇒ 安定した集客が望めるので、飲食・物販点の出店しやすくなる。</p> <p>・近隣市町にあまりない、スポーツ施設の整備(特殊性を持たせる。)</p>
	上岩崎公園(管理棟) (屋外プール)	○利用者が少なく、減少傾向 利用者数の推移 2015年度:5,511人 2016年度:5,671人 2017年度:5,898人 1999年度:16,659人	★廃止【中期】 (小学校プールの開放を検討する)	<p>○廃止の代替 ・幼稚園や小学校のプールを開放してほしい。小学校のプールを年間を通して利用できるように改修してほしい。(温室ハウスを付けるなど)</p> <p>○複合施設 ・上岩崎公園・長伏公園などは、プールも隣接しており、複合施設のようになっていてよい。</p>	有	<p>プール廃止後は、長伏プールの事例を参考にして、上岩崎公園と一体となった環境整備を行います。【2039年まで】</p> <p>※上岩崎公園等のランニングしている人が多いので、シャワー・更衣室を備えたクラブハウスのようなものがあると利便性が増すと考えられます。</p>
その他施設	旧北上公民館 (倉庫)	○借地をしている ○施設が老朽化している(築39年)	★廃止【短期】 (荷物はエコセンターへ移動) ※建物解体の上、土地を返却	○安全面や環境面、経費面から即刻撤去すべき。	無	